

検査内容変更のご案内

謹啓 時下益々ご隆盛のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

この度、全自動血液培養装置を導入することになりましたのでご案内申し上げます。
この導入により、血液培養検査の判定を目視から機器による自動判定に変更させていただきます。つきましては、血液培養ボトルを機器専用ボトルに変更させていただきます。

先生方には大変ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご了承下さいませよう、宜しくお願い申し上げます。

敬白

記

《検査項目》 一般細菌培養同定〔血液〕

《変 更 日》 2021年12月16日（木）受付分より

※血液ボトルにつきましては、従来品の在庫がなくなり次第、
変更させていただきます

《変更内容》

検査項目	変更内容	変更後	変更前
一般細菌培養同定 〔血液〕	培養判定	自動判定	目視判定
	採取容器	装置専用容器	血液培養用容器

ボトルの変更

接種血液量及び接種手順は裏面をご参照ください。

変更後



赤：嫌気ボトル
銀：好気ボトル

接種量：各5mL

好気ボトルには攪拌機能のためスターラーバーが入っています。（異物ではありません）

変更前



接種量：10mL

接種血液量

ボトルへの接種血液量は0.1mLより検査可能ですが、検出率確保のため**最大の5 mL**を目標としてください。

※接種血液量が少なすぎると偽陰性や陽転化するのに時間を要します。

※接種血液量が5mLを超えるとボトル内の血液が凝固する原因となります。

接種手順

ボトルの穿刺部位を消毒をし、嫌気ボトル ⇒ 好気ボトルの順に接種してください。

ボトル内は陰圧となっておりますので接種量オーバーにご注意ください。

※ボトルバーコードに重ねて検体ラベルを貼らないようにお願いいたします。

（ボトルバーコードの上には何も貼らないでください）

※検体ラベルは縦向きに貼ってください。（ボトルバーコードと同じ向きです）